

水環境シンポジウム

「清流の国ぎふ」づくりを推進するために、河川、森林、農業等の各分野の技術者や活動者らが一堂に会し、各々の立場で取り組んでいる水環境に関する調査、研究、活動の成果を発表し合い、相互の理解や連携を深めることを目指します。ぜひ、ご参加ください。

日時 平成23年7月27日(水) 13:00~17:10

7月28日(木) 9:30~17:00

場所 **じゅうろくプラザ**
岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11

入場無料

スケジュール

1日目	時間 13:00~17:10
13:00~13:20	開会あいさつ 古田 肇 岐阜県知事
13:20~14:40	基調講演(1時間20分) 演題: 想定を超える災害に対する多自然川づくりの位置づけ 講師: 島谷 幸宏 九州大学工学研究院教授 【休憩: 10分間】
14:50~17:10	「川の防災」(2時間20分) 事例発表20~30分×5~6件 コーディネーター: 藤田 裕一郎 岐阜大学流域圏科学研究センター長

2日目	時間 9:30~17:00
9:30~12:00	「生物多様性」(2時間30分) 事例発表20~30分×7~8件 コーディネーター: 森 誠一 岐阜経済大学教授 【休憩・昼食: 1時間】
13:00~15:00	「生物に配慮した事業」(2時間) 事例発表15分×6~7件 コーディネーター: 萱場 祐一 土木研究所自然共生研究センター長 【休憩: 10分間】
15:10~16:50	パネルディスカッション(1時間40分)
16:50~17:00	閉会あいさつ 河村 三郎 自然共生工法研究会会長

※このシンポジウムは、自然工法管理士の更新に必要な単位取得の対象講習です(2単位)。



パネルディスカッション

「生命の安全と、人と自然との共生について」

コーディネーター

安田 孝志 (岐阜大学教授)

パネリスト

藤田裕一郎 (岐阜大学流域圏科学研究センター長)

森 誠一 (岐阜経済大学教授)

萱場 祐一 (土木研究所自然共生研究センター長)

金森 吉信 (岐阜県県土整備部長)

清流ぎふ 水環境シンポジウム

講師・コーディネーター・パネリスト プロフィール

基調講演講師 島谷 幸宏 九州大学工学研究院教授

工学博士。専門は河川工学、河川環境。
住民と行政との協働や治水と環境技術の統合の必要性を説き、住民参加の川づくり、多自然川づくり、トキの野生復帰、川の風景デザイン、流域全体での治水などをテーマに、精力的に研究実践活動を展開している。
主な委員として、国土交通省多自然川づくり研究会座長、九州地方整備局景観委員会委員長などを務める。
著書：「水辺空間の魅力と創造（共著）」、「河川風景デザイン」、「河川の自然環境の保全と復元」など

コーディネーター 安田 孝志 岐阜大学教授

工学博士。専門は、海岸工学、気象工学、水工水理学。
太陽からの日射と地球の水によって生み出される地球環境を数理科学的に捉えてモデル化し、その応用として温暖化による台風強化と高潮・豪雨激化予測、新エネルギー、快適都市気象、森林の高解像光合成評価などの研究を行っている。
主な委員として、オーストラリア学術会議審査委員、内閣府中央防災会議災害教訓普及検討会委員、岩手県津波被害調査・対策検討会委員、岐阜県事業評価監視委員会委員長などを務める。
著書：「流体における流動（共著）」、「検証：災害とは何か（共著）」、「伊勢湾台風報告書（共著）」など

パネリスト 藤田裕一郎 岐阜大学教授 流域圏科学研究センター長

工学博士。専門は、水工水理学、河川工学。
河川機能の保全・増進に関する諸課題について、源流から河口に至る実態と現状への過程を現地調査や資料解析から複合的に把握し、背後の物理現象や水生生物の応答特性を物理・数理モデルも用いて研究している。
主な委員として、国土交通省中部地方整備局事業評価監視委員会委員、同ダム等管理フォローアップ委員会委員長、岐阜県建設工事総合評価審査会委員、兵庫県・豊岡市コウノトリ野生復帰推進連絡協議会委員などを務める。
著書：「防災学ハンドブック（共著：河川の侵食性災害、破堤災害担当）」など

パネリスト 森 誠一 岐阜経済大学教授

理学博士。専門は、進化生態学、社会行動学、環境保全学。
山形大学、東京農工大学、国土交通大学校でも講義を持つ。
主な委員として、国土交通省河川整備基本方針検討小委員会専門委員、「日本水大賞」審査員、熊本県荒瀬ダム撤去フォローアップ専門委員会委員、福井県及び愛知県文化財審議委員、文化庁文化財検討委員などを務める。その他、福井県大野町イトヨの里館長、岐阜県自然共生工法研究会理事、応用生態工学学会編集長、日本魚類学会外来魚検討部会長・評議員、生き物文化誌学会理事等。
著書：「環境保全学の理論と実践」全4巻（監修編集）」、「トゲウオの自然史」など

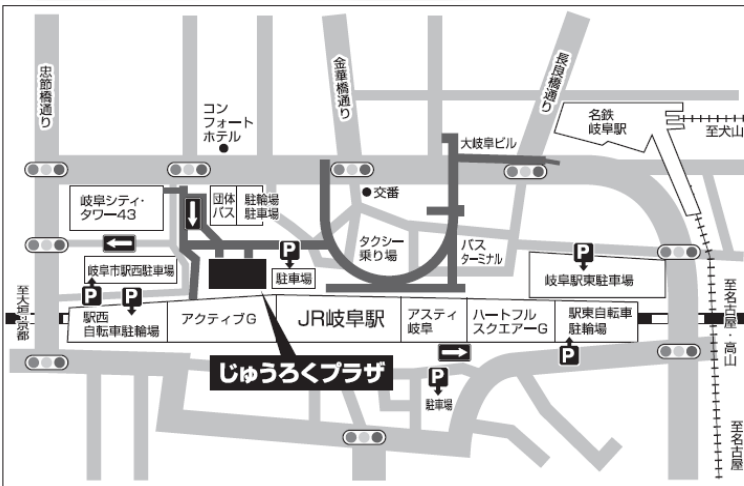
パネリスト 萱場 祐一 土木研究所自然共生研究センター長

工学博士。専門は河川工学、河川環境。
河川湖沼の自然環境保全・復元のための基礎的・応用的研究を行っている。また、全国に向けて、多自然川づくり、自然再生事業、ダム下流の生態系評価等に関する技術指導も行っている。
主な委員として、多自然川づくり研究会委員、木曾三川下流域自然再生検討会委員、応用生態工学学会情報サービス委員会委員長などを務める。
著書：「森里海連環学 - 森から海までの統合的管理を目指して（共著）」、「環境保全学の理論と実践（共著）」など

パネリスト 金森 吉信 岐阜県県土整備部長

技術士（建設部門）。岐阜県入庁当時から、河川をはじめとする県土整備行政に従事、県土整備部河川課河川環境企画監、恵那建設事務所長、県土整備部土木技監などを歴任。
県内各地の多自然川づくりに取り組むとともに、地震・風水害などの災害から人命・財産を守る「安全・安心な県土づくり」、中部圏全域の広域的な連携を促進する幹線ネットワークや都市部と中山間地を効果的に結ぶ道路などの「活力ある県土づくり」に取り組む。

会場 会場へは公共交通機関をご利用下さい



- じゅうろくプラザ併設駐車場のご案内
機械式立体駐車場／58台収容可能 料金／30分 150円
- 交通アクセス／JR岐阜駅より徒歩2分・岐阜各務原ICより車15分

「清流ぎふ水環境シンポジウム」についての詳細は、岐阜県河川課のホームページでご覧いただけます。
<http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei-unei/kocho-koho/event-calendar/gyoji/kasen/H23symposium.html>

定員

400名（先着順）

申込締切

平成23年7月15日（金）

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込方法

必要事項（氏名、職業又は勤務先〔任意〕、住所、電話番号）を明記の上、FAXまたはE-mailで下記まで申し込み下さい。

申込・問い合わせ先

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
岐阜県県土整備部河川課（事務局）
TEL：058-272-8593 FAX：058-278-2753
mail：c11652@pref.gifu.lg.jp

●参加申込書（FAX申込用紙）

「清流ぎふ水環境シンポジウム」に参加を申し込みます。

FAX.058-278-2753

氏名	職業又は勤務先（任意）	住所
		〒□□-□□□□ TEL() -
		〒□□-□□□□ TEL() -

※お知らせいただいた個人情報は厳重に管理し、この行事に関する連絡以外には利用しません。